



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

№31

令和4年3月2日

第6回学校運営協議会を実施しました

2月28日(月)、第6回学校運営協議会を開催しました。学校関係者評価の結果をもとに、令和3年度の総括、令和4年度に向けて話し合いを行いました。主な内容は次のとおりです。

◇コロナ禍による分散登校や学級閉鎖の時のオンライン授業の実施方法や内容について、市内で統一したマニュアルはあるのか。→クロームブックは、授業のためだけでなく、自学のための学習ツールとして子どもたちに持ち帰らせている。統一したマニュアルはないが、原則、子どもたち全員が自宅にいる場合は双方向のオンライン授業を実施し、学校で授業を行っている場合には、その様子を自宅にいる子どもたちにオンライン配信を行った。

◇さまざまなキャリア教育の講師がいるがデータベース化して活用しているのか。→講師の活用が単年で終わらないように、内容・人材・日時・資料等のデータベース化をいっそう図っていく。

◇保健室登校の子どもたちの状況はどうか。→学校とのつながりがなくならないように、今は保健室を教室に戻るためのステップとして位置づけている。子どもに応じた対応と学力保障のために必要な人員確保を検討していく。

◇防災訓練を千代崎中学校区の4校で実施するなら今後も地域づくり協議会で協力していくが、来年度以降どうか。→この2年は、学校独自で防災訓練を行っている。コロナの状況を見ながら来年度、千代崎中学校区での実施ができるか検討していく。

◇コロナ禍の中で学校として特に支援を望むものがあれば教えてほしい。→昨年度から放課後に手すりやドアノブなどの共用部分の消毒のボランティアでお世話になっている。地域づくり協議会発信で行っていただいて教職員の働き方改革の観点からも大変助かっている。

<地域コーディネーターより>

☆放課後の消毒ボランティアは、令和2年の6月から335回実施した。

☆「ごみポイ捨てゼロ運動」のポスターを募集したところ、昨年度をうわまわる100点の応募があり、取組が広がっている。

☆コロナの影響で学校健診後の医療機関の受診率が低くなっているとの記事を読んだが、若松小ではどういった状況か。→コロナ禍以前の令和元年のデータと比較すると、歯科検診、視力検査後の医療機関の受診状況は、未受診の割合が高くなっている。今後、「要受診」の診断には、保護者に啓発を図っていく。

「ゴミのポイ捨てゼロ運動」の取組

若松地域づくり協議会が、若松小児童を対象に実施したアンケートで、「道端や公園などにポイ捨てのゴミがある」「ゴミのポイ捨てが気になる」「みんなでゴミのないきれいな町をつくりましょう」という声が多く寄せられました。例年、ゴミのないきれいな若松をめざして、クリーンパトロール（若松周辺道路のゴミ拾い、清掃）などの活動をしていただいています。さらに、活動を広めようと、ゴミのポイ捨てゼロ運動のポスター



作品を募集し、優秀作品を啓発ポスターにして掲示する取組を行っています。若松小学校は、地域との連携を大切にして、5年生を中心に作品づくりに取り組みましたが、今年度は、1、2年生も積極的に作品づくりに取り組み、多数の応募がありました。

その審査が先日行われ、以下の児童が入賞しました。おめでとうございます。渡邊さんの作品は啓発ポスターとして、若松地区の各所に掲示されます。入賞作品については、3月に若松公民館で展示される予定です。子どもたちの思いから始まった取組です。一人一人が自覚して、きれいな住みよい若松にしていきたいと思います。



「ごみのポイ捨てゼロ運動」ポスター【入賞者】

- | | | | |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 【優秀賞】 | 渡邊 由乃（5年） | 濱野 茉友（3年） | 渡邊 琴弓（2年） |
| | 内山 蒼（1年） | 三浦 琉來（1年） | |
| 【佳作】 | 西口 涼晴（1年） | 北川 幸聖（1年） | 田中 理翔（1年） |
| | 濱口 葵至（1年） | 伊藤 香恋（2年） | 橋本 悠（4年） |
| | 大窪 凧（5年） | 稲垣 光晟（5年） | 井原 しあ（5年） |
| | 青山 千鶴（5年） | 田中 柚羽（5年） | 竹内 大起（5年） |
| | 山口 世菜（6年） | | |

読み聞かせボランティアさん感謝の会

3月1日（火）、お世話になった読み聞かせボランティアさんへ感謝の気持ちを込めてメッセージとお花を送りました。コロナの影響で読み聞かせをしていただける期間は短かったですが、みんな大変楽しみな時間でした。来年度もぜひよろしくお願ひします。

